

プロフィール



吉富志津代 (よしとみ しづよ)

武庫川女子大学 国際センター長／心理・社会福祉学部教授。
南米の領事館秘書を経て、阪神・淡路大震災後は、外国人救援ネットやコミュニティ放送局FMわい
わいの設立に参加。近著に『多様な学びの場をつくる—外国につながる学習者たちの教育から考える』(編著, 明石書店)



松原 ルマ ユリアキズキ (まつばら るま ゆり あきずき)

ブラジル サンパウロ出身。2006年自身の日系ブラジル人3世としてのルーツをテーマにした映像作
品「レモン」が「東京ビデオフェスティバル」で優秀作品賞に入選。
在住外国人支援のNPOで同ルーツの教育支援に携わりながら、現在広告関連の企業に勤務。



朴基浩 (ぱく きほ)

映像作家。NPO法人クロスベイス理事、NPO法人IKUNO・多文化ふらっとアドバイザー。定時制。通
信制高校生の直面する「進路未決定」の課題を知り、NPO法人D×Pを設立。定時制高校等での
キャリア教育プログラムをてがける。「なぜ生理はタブー視されるのか」映画祭入賞。



稲葉奈々子 (いなば ななこ)

上智大学教授。国際社会学が専門。移住者と連帯する全国ネットワークや反貧困ネットワークなど
でも活動、「仮放免高校生奨学金プロジェクト」の運営に関わっている。
『入管を問う—現代日本における移民の収容と抵抗』(編著、人文書院2023年)



清水睦美 (しみず むつみ)

日本女子大学教授。専門は学校臨床学、教育社会学。移民の子どもと災害を対象として学校教育
とヴァルネラビリティの関係を検討。主著『震災と学校のエスノグラフィー』
(共著2020年、勁草書房)、『日本社会の移民第二世代』(共著2021年、明石書店)

司会・趣旨説明等

吉村真子

法政大学社会学部教授

チャクル・ムラット

日本学術会議連携会員 多文化共生分科会副委員長

竹沢泰子

関西外国語大学短期大学部准教授

関西外国語大学国際文化研究所長 京都大学名誉教授

日本学術会議会員 多文化共生分科会委員長

